

令和5年度 薬物乱用防止啓発用ポスター審査会講評

審査員代表 松江市立第四中学校

教諭 金築 亨

マスコミを通して、連日のように覚醒剤や大麻、その他の危険ドラッグ事犯について検挙のニュースが流れている昨今です。近年スマートフォン等の普及などにより、手軽にインターネットを利用できる環境となったことで、匿名性の高いインターネットを利用して薬物の取引が行われるなど、密売方法の巧妙化や潜在化がより一層進行しています。本県の薬物事犯による検挙者数は全国の状況に比べれば少数ですが、薬物乱用は若者だけでなく様々な年齢層に広がり、たくさんの方が加害者や被害者になる状況が深刻化しないとも限りません。そのような中で、県内の中学生及び高校生から薬物乱用防止を啓発するポスターを募集し、薬物乱用の恐ろしさについて意識を高めたり、醸成を図ったりすることはとても意義深い活動であるといえます。

今年度は、県内の中学校・高等学校から125点の作品が集まりました。出品数は昨年より30点近く多くなり、薬物乱用防止に対する切実な思いや関心が高まっていると感じます。

高等学校からは4校11点の応募がありました。発想豊かな画面構成力、描写力がとても高く、自分が何をどう表して伝えたいのか明確に表現されていた作品が多かったと思います。高校生ならではの主題の捉え方が工夫されており、見る人の心に切実に訴えかける作品が多かったと思います。中学校からは17校114点の応募がありました。積極的に授業で取り組まれた学校や部活動でじっくり時間をかけて制作された学校の作品がありました。絵の具の純色や彩度を落とした色などを考えて効果的に表現したり、わかりやすい標語を考えて文字の配色をしたりするなど、危機感をもって啓発していこうという気持ちが伝わってきました。大麻草やカプセル、危険ドラッグなどを描かずに、薬物乱用を防ぐ表現を工夫した作品もありました。

選考にあたっては、①薬物乱用防止の趣旨を理解し、視覚伝達というポスターの機能性を生かして描かれた作品。②不気味で恐ろしい表現に偏らず、発想が豊かで独創的かつ効果的に表した作品。③標語の意味が伝わりやすくメッセージ性が高く、レタリングを丁寧に行って見やすい文字を構成している作品。以上の点に留意し、観点を明確にして審査をしました。

今回県知事賞を受賞された作品は、大麻草や危険ドラッグのカプセルと標語のみが有彩色で表され、全体がモノトーンの色調で描かれているため、見る人には明確に啓発の意図が伝わる工夫がなされており、発想力の高さを感じました。背景の細かい表現もうるさくなく、一つひとつが丁寧に描かれ、作者の作品に対する愛着や表現しているときの充実感が感じられます。

健康福祉部長賞でクリアファイルのデザインに採用された作品は、背景の闇の中に一筋の明かりが一際明るく差し込み、一人の少女が光源に向かって「薬物の誘惑に負けない」という拳を振り上げる図案になっています。背景の黒と光の黄が純色であることから、人物のポーズや表情がしっかり強調され、強い意志をもって薬物を排除しようとする気概が強く感じ取られました。

他の入賞作品も、作者の薬物乱用防止に対する強い思いが、丁寧に表現されている作品が多く見られて感心しました。指導にあられた先生方の日々のご苦勞やご努力、およびその指導の下で熱心に制作された生徒のみなさんの意欲的な活動に敬意を表します。

来年度の実施におきましても、薬物乱用防止啓発活動の主旨をたくさんの学校の先生方にご理解いただき、質も量も今年度以上の作品が出品されることを期待しますと共に、創造する喜びを生徒がしっかり感じるような美術教育がますます発展しますことをお願いし、講評といたします。